

成 田 市 の 環 境

2024（令和 6）年版



成 田 市

は じ め に

私たちはこれまでに、大気汚染や騒音問題、水質汚濁など、日常生活に伴って発生する様々な環境問題に直面してまいりました。近年、地球温暖化が一因とみられる猛暑や集中豪雨などの災害が地球規模での問題にまで広がっております。

このような中、本市では、地球温暖化に向き合う姿勢を示すことが大切であると考え、2020（令和2）年度に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、令和

5年7月に環境基本計画中間見直しを行い、地球温暖化対策を大幅に拡充しました。

この計画に基づき、住宅用の省エネルギー設備への補助や公共施設の低炭素化など様々な施策を展開することによって環境行政の推進に努めておりますが、複雑・多様化する環境問題に対しては、市民及び事業者の皆様と一体となって取り組んでいくことが不可欠であります。今後も施策の推進に当たりましては、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本書は、2014（平成26）年度から10年間の本市の環境行政の概要や、大気質や水質、騒音・振動の発生状況など、地球温暖化対策を含む環境の現状の調査結果をとりまとめたものであります。

本書を通じて、市民及び事業者の皆様が環境問題への理解と関心をさらに深められ、豊かな自然と文化に恵まれた成田市の環境を将来に引き継ぐために、広くご利用いただければ幸いに存じます。



2025（令和7）年3月

成田市長

小泉一成

成田市の環境 2024（令和6）年版

目 次

はじめに

第1部 総論

第1章 成田市の概要	1
1. 位 置	1
2. 地形と地質	2
3. 沿 革	3
4. 人 口	3
5. 産 業	4
6. 土地利用	6
第2章 環境行政の体制	7
1. 環境行政の沿革	7
2. 審議会等	10
3. 広域的環境行政組織等	12
第3章 環境行政の推進	14
1. 成田市環境基本条例	14
2. 成田市環境基本計画	14
3. 総合的環境保全施策	18

第2部 各論 環境の現状と対策

第1章 大気汚染	20
1. 概 要	20
2. 気 象	24
3. 硫黄酸化物(SO _x)	26
4. 窒素酸化物(NO _x)	28
5. 光化学オキシダント(O ₃)	31
6. 一酸化炭素(CO)	33
7. 浮遊粒子状物質(SPM)	34
8. 炭化水素(HC)	36
9. 有害大気汚染物質	38
10. 酸 性 雨	39
11. 微小粒子状物質(PM _{2.5})	41
第2章 水質汚濁	43
1. 概 要	43
2. 河川の状況	51
3. 印旛沼の状況	72
4. 下水道の状況	74
5. ゴルフ場水質調査	74
6. 地下水汚染	75

第3章 騒音・振動	78
1. 概 要	78
2. 工場騒音・振動(特定施設)	80
3. 建設作業騒音・振動(特定建設作業)	82
4. 自動車騒音・道路交通振動	84
5. 航空機騒音	92
第4章 悪 臭	96
1. 概 要	96
2. 現 状	96
3. 法令等による規制	97
4. 調査・測定	97
第5章 地盤沈下	98
1. 概 要	98
2. 観 測	99
3. 現 状	100
4. 地下水採取状況	105
5. 対 策	106
第6章 土壌汚染	107
1. 概 要	107
2. 土壌汚染の状況	110
第7章 ダイオキシン類	111
1. 概 要	111
2. 調査結果	111
3. 対 策	116
第8章 自然環境	117
1. 概 要	117
2. 自然環境保全地域	117
3. 動植物生息調査	118
第9章 廃棄物	124
1. 概 要	124
2. 成田市一般廃棄物処理基本計画	125
3. 成田市循環型社会形成推進地域計画	126
4. 現 状	127
5. 今後の対策	132
第10章 地球温暖化対策	134
1. 概 要	134
2. 成田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)	135
3. 成田市役所エコオフィスアクション(第5次成田市環境保全率先実行計画)	136
4. 成田市住宅用省エネルギー設備設置費補助金	138
5. 成田市地球環境保全協定	140

第11章 その他	141
1. 土砂等の埋立て	141
2. 空き地の適正管理	142
3. 放置自動車対策	143
4. 苦 情	144
5. 放射線量の測定	145
資料編	146
1. 成田市環境基本条例	147
2. 環境用語解説	151